



ASR682-a

本取扱説明書は保証書と共に大切に保管してください。



取扱説明書

製品をご使用になる前に必ず本取扱説明書および詳細 PDF 版をよくお読みください

付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。

■【本社】東京都新宿区新宿1-18-2
■【倉敷支社】岡山県倉敷市神田1-1-11

本取扱説明書は著作権法で保護されています。取扱(取付)説明書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの特許・許可なしに無断で転写・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

ご相談窓口
技術的なお問い合わせ・修理受付
お電話窓口 086-486-0442
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:30
【メールでのお問い合わせ(PC)】
https://www.datasystem.co.jp/support/mail/
【メールでのお問い合わせ(スマートフォン)】
https://www.datasystem.co.jp/sp/support/

ASR682a-1607-AN

各部の名称

ASR682 本体

※本体の操作方法は「ASR682-a取扱説明書」(詳細PDF版)をご参照ください。



ご使用になる前に(必ずお読みください)

注意事項の定義

ご使用の前に、この「ご使用になる前に」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

危険 守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
警告 守らないと法律に違反する恐れがあるもの
注意 守らないと車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
重要 本製品を使用する上で知っていただきたいもの

●危険 ●車高を変化させた状態での走行は大変危険ですので、必ずノーマル車高に戻してから走行してください。
●走行する際は、必ず車高メモリーをノーマル制御(N)に切り替えてください。車高を変化させた状態での走行は、ライメント変化などからタイヤの異常磨耗やトラクション不足、ハンドリング異常などを引き起こし、また乗り心地悪化の原因となります。
●運転者は、運転中に本製品やスマートフォンの操作をしないでください。事故や誤操作の原因となる場合があります。

●警告 ●車高を下げた状態で公道を走行すると違法となる場合があります。
●本製品を使用して発生した違法行為・安全義務違反による罰金・減点などに関しての責任は一切負いません。

●注意 ●本製品の使用中、またはイグニッションスイッチ OFF 後 6 分間は本体および専用ハーネスを外さないでください。外すと本製品および車両のエアサス/アクティブサスコンピューター故障の原因となります。
●本製品は車高センサーを故意に調整して車高を変化させたり、サスペンションシステムの改造・加工等をおこなったりしている車両には適合しません。
●車高を変化させた状態では絶対に走行しないでください。車高を変化させた状態で走行すると、サスペンションに負担がかかりサスペンション破損の原因となります。また、ボディ(スポイラー等)と地面・輪止め等の接触による車両の破損、損傷または事故の恐れがあります。
●本製品はノーマル車両をベースに設計されています。純正または純正と同サイズのタイヤ・ホイール以外のインチアップホイール、ワイドタイヤ装着車、またはスベーターによるワイドトレッド化された車両には本製品を絶対に使用しないでください。タイヤと車体(フェンダー・サスペンション等)の接触による車両の破損、損傷または事故の恐れがあります。

●重要 ●本製品は車高を変化させた状態での走行を目的として開発された装置ではありません。
●本製品を使用したことによるエア(アクティブ)サスペンションシステムに関連するすべて(サスペンション本体・コンプレッサー・車高センサー・サスペンション CPU 等)の故障・損傷・破損および車体(ボディ・エアロパーツ・タイヤ・ホイール・マフラー等)の故障・損傷・破損等において当社では一切の責任を負いません。
●保安基準モードを設定にしている場合、車両個々の状態・エアロパーツや社外マフラー・インチアップホイールの装備状況などによっては保安基準内の最低地上高を確保できない場合があります。また、保安基準モードの設定は保安基準適合や車検対応を保証するものではありません。よって車検を受ける際は、本製品を専用ハーネスごと取り外して※ノーマル状態に戻してください。

※ASR682 本体のみ取り外して専用ハーネスを接続したままにしておくことと車両側エアサス(アクティブサス)ペンションシステムに不具合が生じますので、必ず専用ハーネスごと取り外してください。
●車両側に異常がある場合、本製品が正常に作動しない場合があります。
●スマートフォンの電池切れなどにより本製品をコントロールできなくなった場合は必要に応じて ASR682 本体を直接操作してください。本体には緊急用として強制的にノーマル車高に戻すスイッチも装備されています。ASR682 本体の操作方法など詳しくは「ASR682-a 取扱説明書」(詳細 PDF 版)をご参照ください。
●本製品は車種別専用ハーネスが設定されている車種専用です。車種別専用ハーネスが設定されていない車種には取り付けできません。また、車種別専用ハーネスが設定されていない車種への取り付けに関するサポートは一切おこなっていません。
●本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損等の責任は一切負いません。
●本製品に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと、保証期間に関わらず保証対象外となります。
●ASR682 本体 1 台に対し、複数のスマートフォンを同時にペアリングすることはできません。
●スマートフォンの通信に関わる料金は全てお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
●本取扱説明書に使用しているスマートフォンの画面および操作方法は機種や OS のバージョン等により異なる場合があります。詳しくは各機種の取扱説明書をご参照ください。
●Google、Google Play Store、Android は、米国および他の国々で登録された Google Inc. の商標です。
●Bluetooth® は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。【電波法技術基準適合品】(周波数: 2.4GHz 帯)
●本製品は iPhone では使用できません。

重要 「ASR682-a 取扱説明書」(詳細 PDF 版)は当社 Web サイトよりダウンロードできます。
https://www.datasystem.co.jp/support/manual/pdf/airsus/asr682_android_ope.pdf

車種別注意事項

レクサス LS でご使用になる場合

●車高メモリー(1または2)を選択している場合、速度75km/h以上では車高制御を停止し車高は一定のままになります。この時「HEIGHT HIGH」インジケータが点灯します*1が、制御が正しく働いているためであり、異常ではありません。
速度60km/hまで低下するとこの制御は解除され、インジケータは消灯し車高制御が始まります。
「HEIGHT HIGH」インジケータ点灯中は車高設定値・車高メモリーを変更しても車高は変わりません。また標準で装備されている高速走行時(速度100km/h以上)で車高を1.5cm下げる機能と「HEIGHT HIGH」スイッチ操作時、速度80km/h以上でノーマル車高に戻す(2cm下げる)機能も動作しません。この動作は高速走行時の不用意な車高変化を防ぐための制御ですが、この制御によってすべての安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がってしまう場合もあります。よって走行する際は必ず車高メモリーをノーマル制御(N)*2に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。
*1 「HEIGHT HIGHインジケータ」を点灯させないようにすることはできません。
*2 ノーマル制御(N)設定時は上記制御は動作せず、純正の車高制御のみおこなわれます。



UCF31 セルシオマイナーチェンジ後および UZS186・187・URS206 マジェスタでご使用になる場合

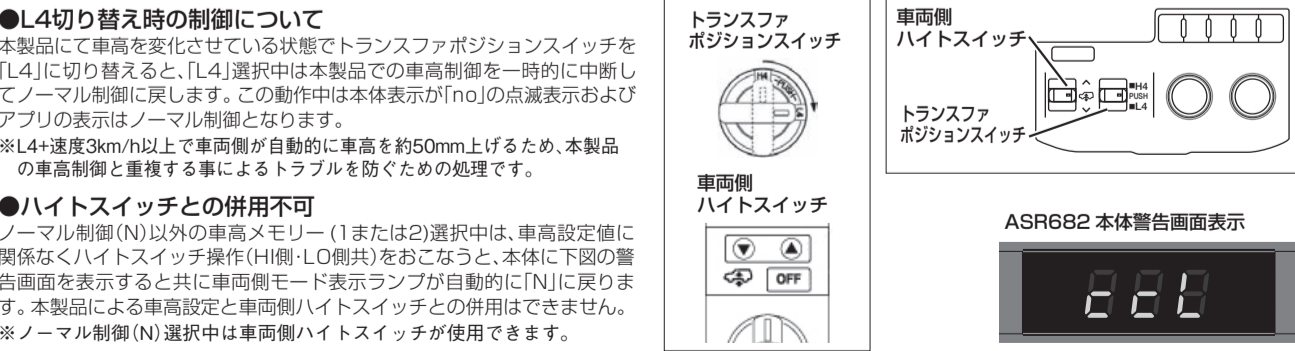
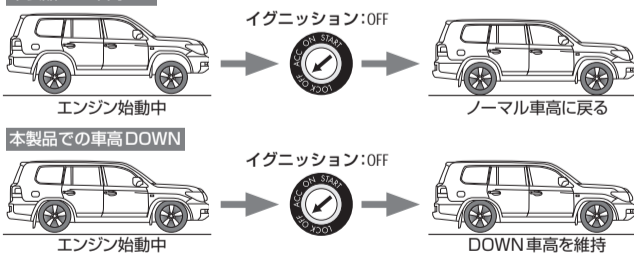
UCF31 セルシオマイナー後(H15.8～H18.9)/UZS186・187 マジェスタ/ URS206 マジェスタは、純正の機能により高速走行(速度100km/h以上)時に約20～30mm車高が下がります。本製品で車高を下げた状態でもこの純正機能は働きますので、本製品で設定した車高よりも更に下がる可能性があります。よって走行する際は必ず車高メモリーをノーマル制御(N)に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください(車高メモリーについてはASR682取扱説明書(詳細PDF版)を参照してください)。ノーマル制御(N)以外の車高メモリー(1または2)を選択している場合、純正機能による車高の下がりすぎを極力抑える為、本製品により速度90km/h以上で車高を約20～30mm上昇させます*。また、この制御は速度70km/h (URS206 マジェスタは55km/h)以下になるまで持続し、その後設定した車高に戻ります。(この制御時に車両側ハイトインジケータが数秒間点滅しますが、異常ではありません。* URS206 マジェスタを除く)ただし、この制御によって100%の安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がる場合もあります。よって走行する際は必ず車高メモリーをノーマル制御(N)に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。
※ノーマル車高よりも下げている場合にこの制御が作動しますが、この制御によって車高がノーマルよりも上昇することはありません。また、ノーマル車高以上に車高を上げた設定にしている場合、この制御は作動しません。

セルシオ UCF31 マルチインフォメーションディスプレイ表示

マジェスタ UZS186・187

ランドクルーザー 200・レクサスLXでご使用になる場合

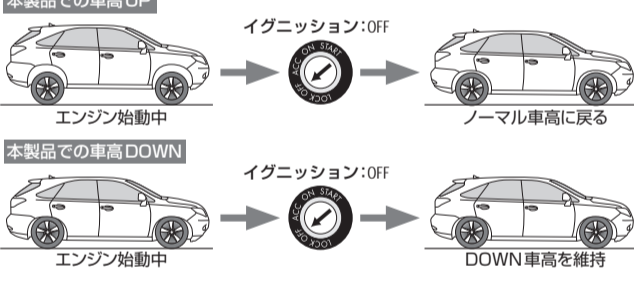
●駐車中の車高について
本製品で車高を上げた状態でイグニッションスイッチをOFFにすると、車両の状態によりノーマル車高に戻る場合があります。これは車両側車高制御上の正常な動作であり、故障ではありません。本製品で設定した車高はイグニッションスイッチをOFFにしても維持されます。
●車高変更の動作について
いずれかのドアを開けていると車高は変化しません。車高を変更する際は、必ず全てのドアを閉じてからおこなってください。
●車高メモリー切り替え時の動作について
車高メモリーを切り替える(NORMAL↔H1↔H2)と車両側ハイトコントロールインジケータの表示がN→H1→Nと変化しますが、これは本製品の制御上の動作で故障や異常ではありません。
●L4切り替え時の制御について
本製品にて車高を変化させている状態でトランスファポジションスイッチを「L4」に切り替えると、「L4」選択中は本製品での車高制御を一時的に中断してノーマル制御に戻します。この動作中は本体表示が「no」の点滅表示およびアプリの表示はノーマル制御となります。
※L4+速度3km/h以上で車両側が自動的に車高を約50mm上げるため、本製品の車高制御と重複する事によるトラブルを防ぐための処理です。



●ハイトスイッチとの併用不可
ノーマル制御(N)以外の車高メモリー(1または2)選択中は、車高設定値に関係なくハイトスイッチ操作(H1側・LO側共)をおこなうと、本体に下図の警告画面を表示すると共に車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。
※ノーマル制御(N)選択中は車両側ハイトスイッチが使用できます。
●高速走行時の制御について
純正の機能により高速走行(速度110km/h以上)時に約20mm車高が下がります。本製品で車高を下げた状態でもこの純正機能は働きますので、本製品で設定した車高よりも更に下がる可能性があります。よって走行する際は必ず車高メモリーをノーマル制御(N)に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。
ノーマル制御(N)以外の車高メモリー(1または2)を選択している場合、純正機能による車高の下がりすぎを極力抑える為、本製品により速度100km/h以上で車高を約20mm上昇させます*。また、この制御は速度70km/h以下になるまで持続し、その後設定した車高に戻ります。但し、この制御によって100%の安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がる場合もあります。よって走行する際は必ず車高メモリーをノーマル制御(N)に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。
※ノーマル車高よりも下げている場合にこの制御が作動しますが、この制御によって車高がノーマルよりも上昇することはありません。また、ノーマル車高以上に車高を上げた設定にしている場合、この制御は作動しません。

レクサス RX でご使用になる場合

●駐車中の車高について
本製品で車高を上げた状態でイグニッションスイッチをOFFにするとノーマル車高に戻ります。これは車両側車高制御上の正常な動作であり、故障ではありません。本製品で設定した車高はイグニッションスイッチをOFFにしても維持されます。
●荷室モードについて
イグニッションスイッチOFF中、本製品で車高を下げた状態では荷室モード※が動作しない場合があります。また、動作してもノーマル車高より30mm以上、下がることはありません。
※イグニッションスイッチOFF中に、荷室にあるハイトコントロールスイッチ操作により車高を30mm下げる純正機能を指します。



●車両側ハイトスイッチについて
ノーマル制御(N)以外の車高メモリー(1または2)選択中は、車高設定値に関係なく運転席側及び荷室側ハイトスイッチ(H1側・LO側共)をおこなうと、本体に下図の警告画面を表示すると共に車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。
※ノーマル制御(N)選択中は車両側ハイトスイッチが使用できます。



●高速走行時の制御について
純正の機能により高速走行(速度100km/h以上)時に約20mm車高が下がります。本製品で車高を下げた状態でもこの純正機能は働きますので、本製品で設定した車高よりも更に下がる可能性があります。よって走行する際は必ず車高メモリーをノーマル制御(N)に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください(車高メモリーについてはASR682取扱説明書(詳細PDF版)を参照してください)。ノーマル制御(N)以外の車高メモリー(1または2)を選択している場合、純正機能による車高の下がりすぎを極力抑える為、本製品により速度95km/h以上で車高を約20mm上昇させます*。また、この制御は速度75km/h以下になるまで持続し、その後設定した車高に戻ります。但し、この制御によって100%の安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がる場合もあります。よって走行する際は必ず車高メモリーをノーマル制御(N)に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。
※ノーマル車高よりも下げている場合にこの制御が作動しますが、この制御によって車高がノーマルよりも上昇することはありません。また、ノーマル車高以上に車高を上げた設定にしている場合、この制御は作動しません。

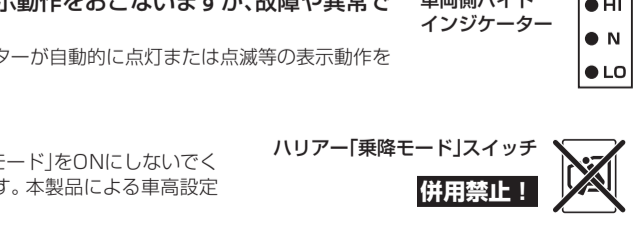
ランドクルーザー 100・シグナスでご使用になる場合

●車両側ハイトインジケータが自動的に点灯または点滅等の表示動作をおこないますが、故障や異常ではありません。
車高設定時や車高メモリー切り替え時、高速走行時に車両側ハイトインジケータが自動的に点灯または点滅等の表示動作をおこないますが、本製品の車高制御によるもので故障や異常ではありません。
●車両側ハイトスイッチについて
ノーマル制御(N)以外の車高メモリー(H1・H2)選択時は、車高設定値に関係なく車両側ハイトスイッチ操作(H1側・LOW側共)をおこなうと、本体に右図の警告画面を表示すると共に車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。
●車高設定をおこなう際は、必ず全てのドアを閉じてください。
ドアが開いている状態では車高が変化しません。



ハリアーでご使用になる場合

●車両側ハイトインジケータが自動的に点灯または点滅等の表示動作をおこないますが、故障や異常ではありません。
車高設定時や車高メモリー切り替え時、高速走行時に車両側ハイトインジケータが自動的に点灯または点滅等の表示動作をおこないますが、本製品の車高制御によるもので故障や異常ではありません。
●純正機能の「乗降モード」は使用しないでください。
ノーマル制御(N)以外の車高メモリー(1または2)選択時は、純正機能の「乗降モード」をONにしないでください。「乗降モード」をONにすると予期せぬ不具合が発生する場合があります。本製品による車高設定と「乗降モード」との併用はできません。
●車両側ハイトスイッチについて
ノーマル制御(N)以外の車高メモリー(1・2)選択時は、車高設定値に関係なく車両側ハイトスイッチ操作(H1側・LOW側共)をおこなうと、本体に右図の警告画面を表示すると共に車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。



初めてご使用になる場合の流れ

※スマートフォンが使用できる状況の場合（スマートフォンが使用できない状況の場合、下記の「本体で初期設定をおこなう」へ進んでください。）

以下の手順に従ってご使用ください。

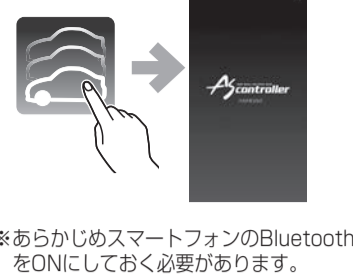
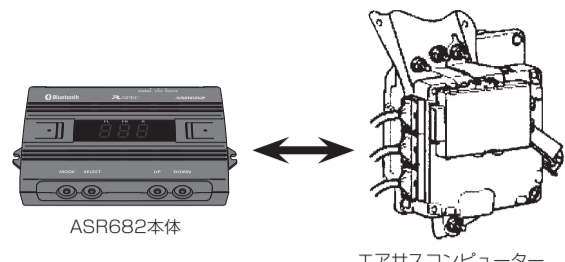
1. 車種別専用ハーネスを使用して、ASR682本体を車両に装着する

2. イグニッション-ONする

3. スマートフォンに専用アプリASR682アプリをインストールする

4. ASR682アプリを起動する

5. デバイス検索ウィンドウが開くので「ASR682 FW●」を選択してBluetooth接続する



※車種によっては別ユニットへの接続もおこなう必要があります。

※表示されるまでに30秒程度かかる場合があります。
※初回のみアプリ使用許諾同意の確認画面が表示されます。

※あらかじめスマートフォンのBluetoothをONしておく必要があります。

6. 車種設定・保安基準モード設定画面が表示される

7. メーカー名・車種名・型式・年式の順で装着した車両の情報を選択する※1

8. 必要に応じて保安基準モードの変更をおこなう※1

9. 「送信する」をタップする



10. ASR682がご使用になります

※アプリを再インストールした場合は、必ずASR682本体をリセットし、上記「3.」から再度操作をおこなってください。
※普段ご使用になる際は上記「4.~5.」の操作をおこなってください。

※1

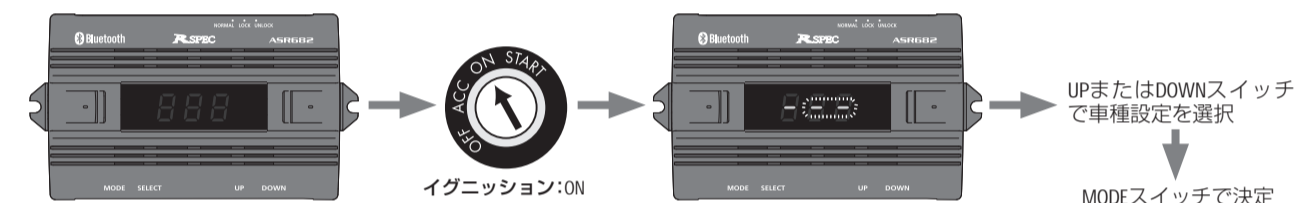
- メーカー名・車種名・型式・年式の順以外は設定できません。
- 年式の範囲が1パターンのみの車種については、型式を選択すると同時に年式も同時に選択されます。
- 車種設定や保安基準モードを変更する場合は「ASR682-a取扱説明書」(詳細PDF版)をご参照ください。

ASR682本体で初期設定をおこなう

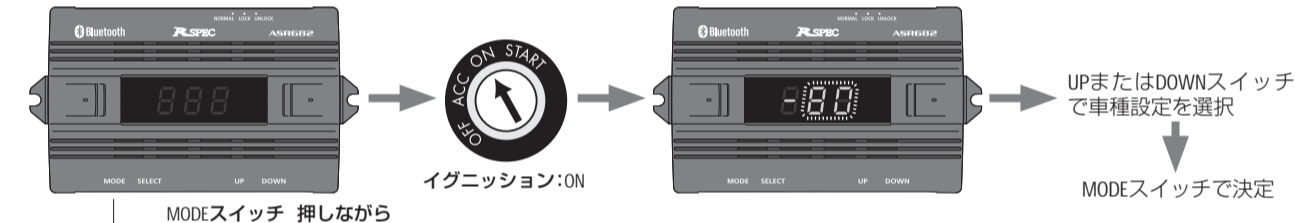
※ASR682本体装着直後、スマートフォンが使用できない状況(スマートフォンで車種設定をおこなえない場合)で動作確認する必要がある場合のみおこなってください。

1. 車種設定モードに切り替える

初めて電源を入れたとき 車両側イグニッションスイッチをONすると自動的に車種設定モードに移行します。



他の車種に設定してあるとき MODEスイッチを押しながら車両側イグニッションスイッチをONにします(エンジンは始動しない)。



- ASR682本体で初期設定をおこなった場合、スマートフォンと接続する前に必ずASR682本体のリセット(ASR682本体のリセット参照)をおこなってから、ASR682アプリで再度初期設定をおこなってください。ASR682本体で初期設定をした状態ではASR682アプリを使用することはできません。
- ASR682本体で初期設定後、車高設定をおこなう場合は保安基準モードになります。

SPd表示確認について

本製品を車両に装着しましたら、初期設定後に必ず以下の確認(SPd表示確認)をおこなってください。

走行開始と同時に本体に「523」(SPd)が点滅表示されるかどうかご確認ください。表示しない場合は車種別専用ハーネスの接続ミスが考えられますので、取付説明書をご参照のうえ接続を見直してください。

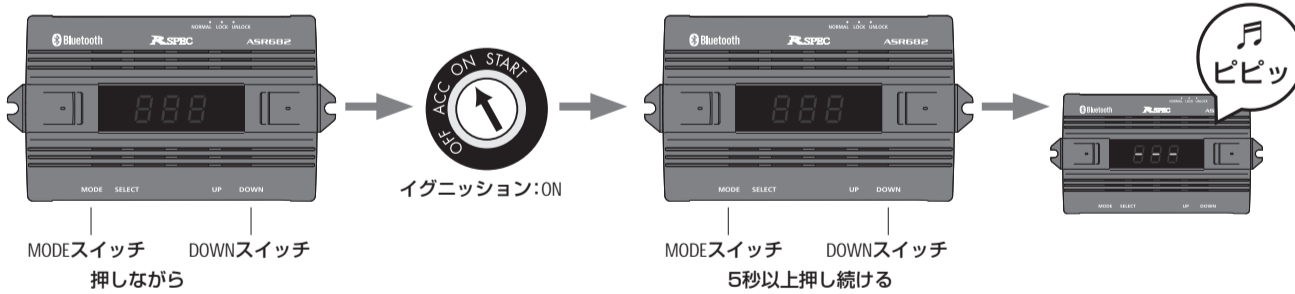
※エンジン始動1回につき1度しか表示しません。確認できなかった場合は再度エンジンをかけなおし、再確認をおこなってください。

ASR682本体のリセット

※ASR682本体で初期設定をおこなった場合や使用するスマートフォンの機種を変更した場合にリセットが必要です。

1. MODEスイッチとDOWNスイッチを押したままイグニッションをONにする

2. 「1.」の状態を5秒以上保持すると本体ブザーが「ビピッ」音を発すると共に本体がリセットされ、工場出荷状態に戻る

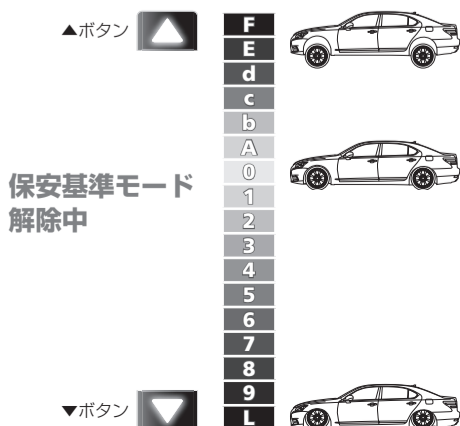


- 操作中の5秒間は無表示となります。
- 操作を中断すると通常の動作に戻ります。

保安基準モードについて

保安基準モード設定 制御比較表

保安基準モード	走行中の車高メモリー切替	走行中の車高設定段階変更	車高設定段階
設定中	×	×	制限あり
解除中	○	○	制限なし



▲ボタン
b A 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 L
▲ボタン
保安基準モード設定中(工場出荷時)
▼ボタン

- 「0」はノーマル車高、数字が大きくなるほど車高が低くなり、アルファベットが進むほど(Lを除く)車高が高くなります。
- 車高設定値はスーパーLOWモードとなり、最も車高が低くなります。
- 車高設定値を変更すると同時に車高変化が始まります。
- 保安基準モード設定中は走行中の車高設定値変更や車高メモリーの切り替えができません。

各車の車種設定値

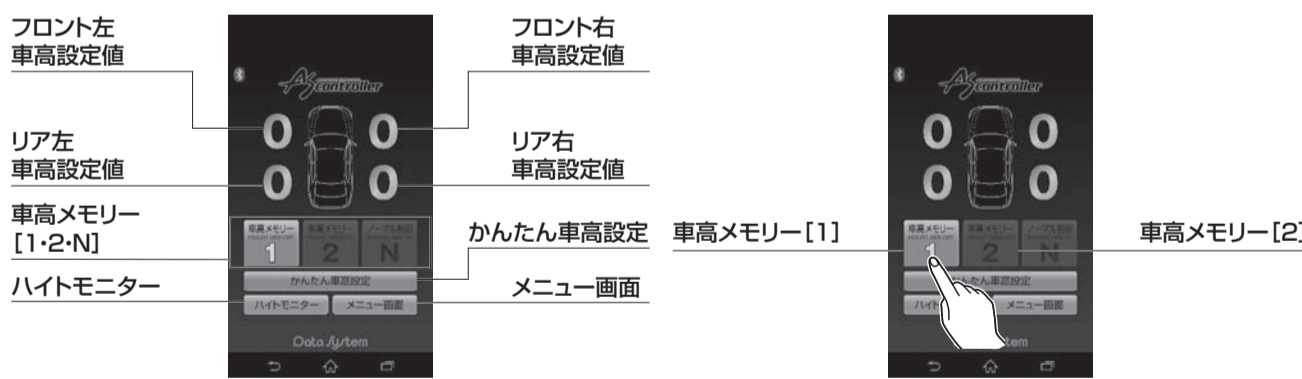
	車種名	型式	年式	車種設定値	
ユニット	マジエスタ	UZS151	H7.9~H11.9	80	
	マジエスタ	UZS171	H11.10~H16.6	81	
	マジエスタ 4WD	UZS173	H11.10~H16.6	82	
	マジエスタ	UZS186	H16.7~H21.3	83	
	マジエスタ 4WD	UZS187	H16.7~H21.3	84	
	マジエスタ	URS206	H21.3~H25.8	85	
	マジエスタ 4WD	UZS207	H21.3~H25.8	86	
	セルシオ	UCF21	H6.10~H12.8	87	
	セルシオ (M/C前)	UCF31	H12.9~H15.7	88	
	セルシオ (M/C後)	UCF31	H15.8~H18.9	89	
	ハリアー	MCU31・36/GSU31・36	H15.2~H20.12	8A	
	エアサス	LS460	USF40・45	H18.9~H21.10	8d
			USF40・45	H21.11~H24.9	
			USF40・45	H24.10~	
LS460L		USF41・46	H20.9~H21.10		
		USF41・46	H21.11~H24.9		
レクサス		USF41・46	H24.10~		
		LS600h	UVF45	H19.5~H21.10	
		UVF45	H21.11~H24.9		
LS600hL		UVF45	H24.10~		
		UVF46	H19.5~H21.10		
エアサス/ユニット	RX350	GGL16	H21.1~H24.3	8E	
	RX450h	GYL16	H21.4~H24.3		
	RX450h	GYL16	H24.4~H27.10		
	ランドクルーザー	UZJ100W・HDJ101K	H10.2~H19.9		8b
		UZJ100W・HDJ101K	H10.12~H19.9		
		URJ202W	H21.5~H23.12		
ランドクルーザー	URJ202W	H24.1~H27.8	8C		
	URJ202W	H27.9~			
	LX	URJ201W		H27.9~	

2016年6月現在

ASR682アプリで車高を設定する

1. ASR682アプリを起動するとメイン画面が表示される

2. 「車高メモリー1」または「車高メモリー2」をタップする



3. 車高設定をおこなう



- 設定した車高設定値は選択された車高メモリーに保存されます。
- ウィンドウ右上の「×」またはいずれかの車高設定値をタップするとウィンドウが閉じます。
- 「かんたん車高設定」についてはASR682-a取扱説明書(詳細PDF版)をご参照ください。
- 車高に傾きがある場合は低いほうの車高を上げて左右バランスを調整してください。ただしフロントのみ左右バランス調整可能となります。
- エンジンを停止するまたはスマートフォンのBluetoothをOFFにすると自動的にBluetooth接続が解除され、ASR682アプリは使用できません。(メニュー画面内の一部の機能のみ使用可能)
- 車高設定値L(スーパーLOW)を設定するには、車高設定値を9に設定してから▼ボタンを2秒以上長押しします。スーパーLOWは必ず左右同時に設定されます。スーパーLOWを解除するには▲ボタンをタップします。スーパーLOWは必ず左右同時に解除されます。

POINT 車高設定値は左右で5段階以上の差が開かないように設定してください。左右で極端に差が開くと、車高が異常に傾いたり車高制御が停止したりする恐れがあります。